

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピュアの樹（とみお）		
○保護者評価実施期間	8年 2月 10日		～ 8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	8年 2月 10日		～ 8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	8年 4月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	大型遊具（スペースリング、ポニーリング、フレキサー、ホーススイング、トランポリン等）が充実している	子どもの発達レベルによってスモールステップで関わり、本人のペースで発達を促している	大型遊具のある他事業所へ見学へ行ったり遊具の利用について学びを深めている
2	子どもの感覚特性に応じて感覚統合遊びを中心に活動を行っている	職員全員でアイデアを出し合い子どもの興味関心に合う楽しいプログラムを作成している	子どもが楽しく取り組めるよう分かる→できる→もっとやりたいのサイクルを意識して活動を考えている
3	個別・小集団を部分的に取り入れて柔軟に対応している	個々の特性、課題に対して適切にアプローチをしている	定期的に研修を行うことで知識のインプットプログラム会議でのアウトプットを行い個々のスキルをアップさせている

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設があまり広くないので子どもが思いっきり身体を動かすプログラムが提供できない	構造上、壁の仕切りが多いため	限られた空間の中で安全に気を付けながら提供できるプログラムを検討している
2	専門職員（作業療法士、言語聴覚士）が常駐していない	法人の方針で雇用を検討していない	定期的な作業療法士、言語聴覚士の研修を行い療育で実践をしている
3	個別・小集団になるので大人数の経験が深められない	施設の大きさ、職員の配置基準により人数が限られるため	長期休暇やイベント等を利用して複数人の療育の療育を実施している